

# 株式会社フジワラテクノアート

岡山県岡山市



「働きがい」の向上に向けて

| 貢献意識の醸成   | 裁量・自由度   |
|---|--|
| <p>お客様・地域社会・会社/チームに対する貢献を実感できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆業務紹介<br/>※1回、全社員を集めて業務内容の概要やお客様からの期待などを共有</li> <li>◆仕事の「成果を実感」する機会<br/>※お客様の感謝、感謝状を受けたラブレターを頒布<br/>※社内の設備で作られた日本酒、焼酎をディスプレイ</li> </ul> | <p>若手でも裁量を与え、自律的に考えて行動することを推奨する企業風土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆マネジメントフェイ（管理職向け研修）<br/>・支援型のグループワークのあり方を習得<br/>・椅子として恥出し、研修中も活用</li> <li>◆ゼロトムの仕組み化<br/>・業務を組織文化を通じて、一般社員であっても経営層に提案できる環境づくり</li> </ul>                     |
| 相互に高め合うカルチャー  | 成長とキャリア  |
| <p>お互いに信頼し、心豊かに仕事ができるフジワラカルチャーの土台づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆フジワラウェイ（行動規範）策定<br/>・全社員への浸透ワークショップ開催<br/>・行動計画を作成<br/>・心豊かに実践し配布</li> </ul>   | <p>専門性を磨き、自分らしいキャリア構築を支援する制度整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆個人別5か年ビジョン<br/>・中期経営計画と連動した5年間の専門性・スキルの成長目標を設定し、上司と共有<br/>・5年間のありたい姿を全てマップ化し公開</li> <li>◆継続的な学びを支援する制度<br/>・資格取得に向けた手厚い費用補助<br/>・社外研修、企業間交流会など多様な学習機会の提供</li> </ul> |

藤原代表取締役社長

働きがいの向上に向けた取り組み

事業者名 株式会社フジワラテクノアート

代表者 代表取締役社長 藤原 恵子

所在地 岡山県岡山市北区富吉2827-3

設立 1933年

従業員数 158名

URL <https://www.fujiwara-jp.com/>

(2025年12月1日現在)

受賞分野 &gt; 人への投資・環境整備

取組内容 &gt; 「人を大切にする経営」で、創業100周年へ。働きやすさと働きがいを両立した環境整備で、企業と従業員の成長を実現。

## 事業概要

国内トップクラスのシェアを誇る醸造機械のパイオニア。同社は醸造機械、食品機械、バイオ関連機器等のプラント専門メーカーである。設計・開発から製造、据付、メンテナンス等に至るまでを一貫して手掛け、特に全自動製麹装置はフルオーダーメイドで顧客からの信頼を得ており、国内にてトップクラスのシェアを誇っている。現在はその技術を応用し、微生物インダストリーの構築など、バイオものづくり市場にも積極的に取り組んでいる。

## 取組内容

会社のあるべき姿を見据えた人財育成と働き方改革を、全社を挙げて取り組んでいる。働き方改革やダイバーシティに積極的に取り組むことで、働きやすさと働きがいの両立を実現。企業と従業員の成長、さらには採用活動や地域への貢献といった好循環を生み出している。

### 会社のビジョンから従業員個人のありたい姿まで一貫した取組を実現

会社として「開発ビジョン2050」を策定後、個人別5か年ビジョンとそこに至る成長計画（資格取得、実務経験蓄積の両面）を設定し、会社として実現に向けサポートしている。また、「人財育成委員会」を設置し、組織内の小集団活動や社内外の研修を通じた人財育成や、技術者育成のための博士号取得も奨励し、支援をしている。

### 働きやすさと働きがいの両立を実現した働き方改革を推進

現社長が就任当初から働き方改革やダイバーシティに注力。人口減少の中、女性活躍を推進しなければならないという想いで取り組んだ結果、女性社員及び女性管理職が増加。障がい者や外国籍社員の採用にも力を入れ、本人の特性に合った活躍の場の提供により、働きやすさと働きがいの両立を実現。それらの取組はメディアにも取り上げられ、雇用にも好影響が起きている。

### 人への投資・環境整備面で、外部から高い評価

組織づくりや人事制度改定に加え、継続的な賃上げを実施。男性が多い業界の中、女性活躍のモデル事例として多くの表彰を受けている。また、人を大切にする経営の多面的な取り組みが高く評価され、社長・副社長ともに業界団体や大学などの要職に就き、地域等への貢献も果たしている。